

オセロで何度なんども

こてんぱんにまけても

めげすにいどんでくるじん君くんを

カッコイイとおもっています。

これからも

まげたりしっぱいしたりしても

あきらめずに

ちようせんできる人に

なつてください。

とうちゃん

おせろをしているときたのしい。

でもかったことがないから

かちたい。

かつてみたいから

がんばる。

とうちゃん

またおせろをしようね。

つぎやるときかちたい。

大杉 祐二おおすぎ ゆうじ（父）

大杉 仁之助じんのすけ（小1 加賀市）

いつも、しゅうだんとうこうの

しゅうこうばしよまで

ついてきてくれて

ありがとう。

「いってらっしゃい」のことばが

わたしのころを

ささえてくれて、

がっこうでも

がんばっているよ。

小学校まで歩いて30分ある。

大きなランドセルを背負せって

毎日行けるのかなと

ずっと心配しんぱいしてきましたが、

笑顔えがおで

「行つてきます！」と言いって

歩いていく背中を見て、

頼たのもしく思おもっているよ。

これからもずっと応援おうえんしているよ。

山本 佳澄やまもと かすみ（小1 白山市）

山本 佳七子かななこ（母）

ねるまえにおかあさんと
おはなしするじかんが、
いちにちのなかでいちばんすき
おかあさんとはなすと、
がつこういきたくないなつて
きもちが、
あしたもがんばるぞ！
にかわるんだよ。
またきようも
いっぱいはなしたいな。

酒井 颯瀬（小1 金沢市）

寝る前のお話タイム。
お母さんも、一日の終わりの
その時間が一番好き。
いつも妹達にゆずって、
何でも我慢している、
とっても優しいお兄ちゃん。
その時間は、颯瀬とだけの
特別な時間だよ。
ずっとずっと話そうね。

酒井 はるか（母）

はじめて妹が、眼科に行った時、
一緒につきそってくれたなな。
しりよくけんさのやり方が
わからない妹に
必死に説明してくれて、先生に
「妹さんはお母さんが二人いて
安心ね。」
と言われたね。
これからも頼りにしてるよ。

酒井 香（母）

いもうとがこまっていたから、
ゆびをつかってせつめいしたよ。
そしたら、せんせいに
「おかあさんみたい」って
いわれてちょっと
はずかしかったよ。
だけどもママみたいっていわれて
うれしかったよ。
まま2ごう、がんばる!!

酒井 那奈（小1 津幡町）

パパ、

まいあさおうちをでるときに
ハグしてくれてありがとう。

あせくさいなつて

おもうひもあるけど、

でもうれしいよ。

パパのハグは、わたしに
げんきとゆうきをくれる

おまじないだね。

よし！きょうもがんばるぞ！！

濱野 愛（小１ 津幡町）

あいちゃん、

知らなかったの？

パパは魔法が使えるんだ。

世界中でたった一人の

あいちゃんにしか効かない

魔法のハグだよ。

一日を楽しく過ごせるように
願いを込めているんだ。

いくつになるまで

ハグさせてくれるかな…

濱野 孝志（父）

いっしょにおかいものにいくと、

うしろからちからいっぱい

「ぎゅー」とだきつき

「だいすき。」

といってくれるあおい。

あおいの「ぎゅー」は

ママのげんきになるおくすり。

こんどママから

「ぎゅー」していいかな？

たくさん

「ぎゅー」していいよ。

おかいものしてるとき

ママに

「ぎゅー」したら

ママのにおいがするし、

こころが

ぽかぽかになって

きもちいいよ。

品川 美代子（母）

品川 夏葵（小１ かほく市）

ばばは、しごとで
なにをしているの？
ばばが、のっているすいーぱーは
なにをするくるまなの？
ぱぱがしごとで
たいへんにおもうことはなあに？
いつもありがとう。
けがしないように、きをつけて
これからもがんばってね。

パパは仕事で、
車とこが通る道路どうろをキレイにしたり
壊れた所こわを直なおしたりしています。
スイーパーは
道路どうろの汚れやゴミを走はしりながら
掃除そうじする車だよ。
夏なつは暑あつくて冬ふゆは寒いけど、
怪け我がしないように頑張がんばるね。
湊みなと士しも勉強頑張べんきょうってね！

長谷川 湊士はせがわ そうし（小1 宝達志水町）

長谷川 和也かすや（父）

「お母さんは、葉那かなの事が
好きだから怒おこるんですよ。」
と聞いてきたね。

お母さんに怒られると泣なきながら
「お母さんは葉那の事が
嫌いねんろ。」
と言うと

「そうだよ。大切たいせつで大好きだから
危あふない事ことや人の嫌いやがる事を
してほしくないの。」
と言うと

「お母さんは葉那の事
大好きですけど。」って
言ってくれるね。

ニコニコしてくれる笑顔えがおに、
いつも癒いやされてるんだよ。

ビックリして涙なみだが止とまって
うれしい気持ちきもちになったよ。
ありがとう。大好きだよ。

鷹谷 仁美たかこ ひとみ（母）

鷹谷 葉那かな（小1 七尾市）

いのちのべんきょうをしたよ。
1cmのときから

おなかの中で

まもってくれてありがとう。

おなかからうまれてからも

大じにそだててくれて

ありがとう。

じ分ぶんのためにはたらいてくれて

ありがとう。

ママのおなかのなかで、
小さいのちが

いっしょうけんめい生きていることに

かんどうしたよ。

どんなことがあっても

このいのちをまもう、

大じにそだてようとおもったよ。

菜々帆は

かぞくみんなのたからものだよ。

小西 菜々帆こにし ななほ（小2 能美市）

小西 真由美こにし まゆみ（母）

ママね、

おとちゃんと一緒いっしょにいると

成長せいちょうするんだよ。

新あたしいことに挑戦ちようせんする姿すがた、

弟おとうとのためにがまんする姿、

全部ぜんぶの姿から

たくさん学しっばいんでいるんだよ。

たまに失敗しっばいもしちゃうけど、

それが人間にんげん。人生じんせいって楽しいね！

おとなって

しっばいするの？って

おもったけど

いがいとするんだなあ。って

おもったんだ。だから、

「しっばいはせいこうのもと」って

いうことばはたいせつだなあと

おもったんだ。

たくさんしっばいしちゃうおうね！

山本 麻梨菜やまもと まりな（母）

山本 乙華やまもと おとか（小2 金沢市）

ばばちゃん、ぼくのすもうを
おうえんしてくれて、
ありがとう。

ばばちゃんのごはんをたべると、
パワーが出て、

思い切りけいこができるよ。

いつか、りょうごくに
つれていくね。

大きくなったら

よこづなになるからね。

西田 旭(小2 七尾市)

旭はほんとうにすもうが
大すぎだね。

ばばちゃんも旭が

すもうをがんばっている

すがたをみて、

パワーをもらっているよ。

おいしいごはんを作るから、

たくさん食べてね。

ゆめがかなうのを

楽しみにまっているからね。

藤井 恭子(祖母)

お母さん

わたしが休みの日おふとんで、

へんな歌をうたっておもしろいよ。

でもわたしが学校の時

おこしてくれてありがとう。

また休みの日

わたしと妹とお母さんで

へんな歌、うたおう。

だいすきだよ。

いつもありがとう。

川江 史織(小3 加賀市)

あの変な歌には

直接言うには

少し照れくさい言葉を

歌っているんだよ。

変なリズムに、変な音程、

決して同じ歌は歌えませんが、

その時その瞬間に、

史織に伝えたい言葉を

歌にしています。

今度は歌詞にも注目してみてね。

川江 聡美(母)

ママへ

ママの本がすきなこと

とてもすてきだなんて思うよ。

ママはわたしにおすすめな本も

かりてくれるし、

わたしがすきそうな本も

かりてきてくれるし

ママに図書館の仕事

とても合うよ。

これからも仕事がんばってね。

大下 笑麻(小3 加賀市)

こんな本は好きかな？

もう少し字の多い本も

読めるようになったかな？

とえまのことを考えながら

楽しく本を

えらんでいるよ。

えまも自分の好きなことを

楽しくがんばってくれたら、

ママはうれしいです。

大下 志麻(母)

お休みの日でも早おきして、

たまごやきを作ったり、

せんたくものをかたづけたり、

お手伝いをがんばってくれて

ありがとう。

でも、たまにはすきなだけ

ねてすごしても良いんだよ。

それもお休みの

みりよくだからさ。

永井 宏明(父)

それはパパがおきたくないから

言っているんでしょう。

でも、それだけ

毎日お仕事を

がんばってくれているからだよね。

ありがとう。

だから、お休みの朝は

わたしがちよつとがんばるから。

パパはどうぞお休みなさい。

永井 美晃(小3 小松市)

おふろの時間、
 パパと楽しく遊んだり、
 今日あった事や、
 こまっっている事など
 色々話したりしています。
 あせだくになるけど、
 その時間は、
 楽しくとくべつな時間だから、
 これからもつづけていきたい。

吉岡 蓮翔(小3 小松市)

おとまりの仕事が
 たくさんあって、
 ゆっくり話をしたくても、
 テレビやメディアに意しきが
 いってしまうので、
 パパもおふろでゆっくりと話が
 できる時間が大好きです。
 これからも、男同志の話を
 たくさんしようね。

吉岡 和信(父)

いつも習字のれん習中に
 「がんばればうまくなるよ」と
 おうえんしてくれるね。
 いつもその言葉で
 ゆう気が出るよ。
 と中でうまく書けなくて
 泣きそうになった時は、
 元気になるよ。
 これからもがんばるから
 おうえんしてね。

梅村 佳菜子(小3 内灘町)

いつも習字の練習、
 本当にがんばっているね。
 良い結果が出て、
 思うように評価されなくても
 「次、がんばろう！」と
 前向きなあなただから、
 ママは自信を持って
 声をかけているよ。
 これからも二人三脚で
 がんばろう!!

梅村 睦子(母)

「ねえ、聞いて。」
 楽しかった事、嬉しかった事、
 ちよっぴり悲しかった事…
 毎日、たくさんの話をしてくれる
 芽愛。きょうだいが多くて
 「ちよっと待って。」って
 言ってしまう事が多いけど、
 次はパパの番。
 「ねえ、聞いて。」

わたしも、パパの話をいっぱい、
 もっと聞きたいな。
 いつもしてくれる
 パパの話を聞いていたら、
 おもしろい話がたくさんで、
 わたしは、パパが
 おもしろいなと思っているよ。
 パパも、
 たくさん話をしてくね。

田村 一騎（父）

田村 芽愛（小3 内灘町）

お母さん

わたしたまにお母さんの
 まくらをだいてねるの。
 理由は、一人でねるのが
 まだちよっとこわいから
 だいてねているの。
 だからずーっといっしょにいて。
 世界の中で一番すきな人だから
 わたしよりさきにしないでね。

読んでびっくりしました。

もうそんなことも考えるくらい
 大きくなったんだね。
 長生きできるよう気をつけます。
 きっともうすぐ一人でねるし、
 って言うんやろうけど、
 あまえたい時は
 ハグして下さい。
 たまにはパパにもね。

水株 妃菜（小3 かほく市）

水株 摩美（母）

お母さんが毎日聞くこと。

「今日何が一番楽しかった？」

さしいしよは、

自分で上手く伝えられなかった。

でも、今はちがうよ。

伝えたい事がたくさんあって、

もつと聞いてもらいたいよ。

これからも

伝えていくね。

「今日、何が一番楽しかった？」

毎日、学校から帰ると

聞いていたよね。でも、

いつからか聞かなくなった。

なぜかって。それは自分で

話してくれるように

なったからだね。

何でも話してくれて、

すごく嬉しいよ。

楠 悠花（小3 羽咋市）

楠 沙耶華（母）

ぼくは、お母さんが

すごいと思っている。

だってすごく早くおきるから。

ぼくも早くおきてるけど

やっぱりお母さんにはかてない。

いつかかてるといいな。

でもやっぱりかてない。

めざましどけいで

おきてるのにすごいね。

ふふふ。実はお母さんは

一人でくらししていたころ、

毎日ねぼうしていたくらい、

早起きが苦手やってんよ。

でも蒼人が生まれてから、

いいお母さんになろうと思って、

がんばって

起きるようになったよ。

蒼人のおかげやね。

島田 蒼人（小3 中能登町）

島田 茜（母）

運動会うんどうかいで久しぶりひさに

遥夏はるかをおんぶしたね。

あなたの成長せいちょうを背中せなかで受け、

うれしくなったよ。

でも、次つぎの日ひに

全身筋肉痛ぜんしんきんにくつうになっ

つらかったよ。だけど、

お母さんはこれから

遥夏の成長を

全身で受けとめていきたいです。

三澤 知子みさわ ともこ（母）

ひさしぶりにお母さんに

おんぶしてもらって

とてもうれしかったよ。

きんにくつうになったら、

すぐにはるにいつてね。

そうしたら

マッサージしてあげるよ。

だからこれからも、

おんぶやだっこを

たくさんしてほしいな!!

三澤 遥夏はるか（小3 珠洲市）

ねえ、ママ、

どうして大人はおこるの。

どうしておこっても、

ごはん作つくってくれるの？

なんでだろう。って、

おこってるのに

ごはん、せんたくもの、

なんでやってくれるの。

これが自分で思ったこと。

こんど教えてね。

前田 捺稀まえだ なつき（小4 金沢市）

なっちゃんのこときらいが嫌だから

おこってるわけじゃないんだよ。

ダメなことをちゃんと

わかってもらって

成長せいちょうしてもらうために

おこるんだよ。

嫌いじゃないからご飯はん作つくったり、

洗せんたくしたりするんだよ。

大好きだよ。

前田 洋恵ひろえ（母）

ママ、
私はママの仕事の悩みを
たまに聞いてると
泣きそうになる時があります。
私はなんにもできないけど、
なんにも役に立てないけど
ずっとママが大好きで、
子供ながらに心配してます。
たまには一人の有給もとってね！

山田 陽菜（小4 金沢市）

ママも陽菜くらいの頃から
お母さんが無理をしていないか
心配していたな。
心配かけてごめんね（笑）
でもママは
陽菜という心強い味方がいるから
無敵だよ！！
ママはつくづく
陽菜のママになれて幸せだよ。

山田 さやか（母）

去年、じいちゃんに誘われて
実家の畑で
一緒にイチゴ狩りをしたね。
でも、今年からは
じいちゃんのいない
イチゴ狩りになったね。
これからも
イチゴ狩りの季節になると、
じいちゃんを思い出すのかな。

家蔵 美香（母）

「おーい、快斗。」
イチゴ畑でぼくをよぶ声。
お店のイチゴみたいじゃないけど、
おいしかったね。
今年もイチゴがりをしたけど、
じいちゃんがいなくて
さみしかったね。
「快斗、うまいか。」
空から聞こえてきそうだね。

家蔵 快斗（小4 志賀町）

「お母さんの声、

大きいし恥ずかしいわ。」

試合のたびにあなたは言うね。

だから、ぐっとこらえて

拍手で応援してるんだけど、

ついつい心の声が

出ちゃうんです。

本当はありったけの声援で、

あなたの背中を押したいな。

西野 恵(母)

いつも卓球の試合の

用意をしてくれたり、

お弁当を作ってくれたりして

ありがとう。卓球の試合で

「がんばれ」と

大声で応援してくれて

ぼくは少しはずかしいけど

その応援でがんばろうと思うよ。

これからも応援お願いします。

西野 巧真(小5 加賀市)

星に詳しいそら。

昔は夜空を見ても

きれいだなあと

思うだけだったけど、

そらから星の名前や星のことを

沢山教えてもらえるので

そらと夜空を見るのが

とても楽しいです。

これからも一緒に

夜空をいっぱい見ようね。

廣瀬 久美子(母)

ぼくも昔は、星を見ても

何も分からなかったけど、

図かんや本などで

たくさん勉強したよ。

だから夜空を

お母さんと見るのが楽しくなり、

前見た星より

お母さんと見る星の方が

かがやいていたよ。

またいっぱい教えるね。

廣瀬 そら(小5 小松市)

ママは、

「負けんよ。」と、よく言うよね。

小さなことでも大きなことでも、

負けないようがんばるママを

わたしはすごいと思う。

だから、

私もママみたいに、

負けずに元気で

すごしたいなーと思った。

これからも元気でいてね。

田口 心那（小5 内灘町）

「まいっか。」という言葉をよく使っているね。

最初はすぐに

あきらめているように

感じていた言葉だけど、

見方を変えると、

とても柔軟なのかなと

思うようになったよ。

その人に合った言葉が

いろいろとあるんだね。

田口 恵（母）

じゃが芋、たけのこ、

じいちゃんの畑でとれる

ばくの大好きな野菜。

稲の成長の勉強して

野菜を育てるには

苦労が多いことが分かったよ。

じいちゃんの顔が日に焼けて

真っ黒なのは

畑仕事のためなんだね。

毎日ありがとう。

石田 一真（小5 宝達志水町）

土を耕し種をまく。

芽が出たら世話をして育てる。

一真君の成長も同じだよ。

新鮮な野菜を食べて

元気にぐんぐん成長する

一真君。

雨が降っても暑い日も

成長する野菜。

じいちゃんにとっては、

全てが楽しい毎日だよ。

田邊 純郎（祖父）

おばあちゃん
いつもご飯を作ってくれたり、
こまったときに
話を聞いてくれたりして
ありがとう。
そして七年間私のために
お世話をしてくれてありがとう。
私も、おばあちゃんの
お世話やお手伝いを
いっぱいしようと思います。

紺谷 桜慈（小6 加賀市）

桜慈と
おじいちゃんおばあちゃんが
一緒に生活することになった
七年前、おばあちゃんは
しゃがんで目線を合わせ
ハグして大歓迎しました。
六年生になった今、
おばあちゃんは
精一杯つま立ても
桜慈にとどきません。

紺谷 泰子（祖母）

お母さん、
いつも指がいたいって言ってる。
それを見て私は、
なんとも思ってたんだけど
今思ったら、
お茶碗にしんけんに
絵を書いているから
指も手もいたくなるんだよね。
お母さんががんばっているところ
大好きだよ。

竹内 彩乃（小6 白山市）

指が痛くてもお母さんは
幸せです。九谷焼の器を
使ってくれる人達に
喜んでもらえるのが
うれしいから。
家で仕事をしていて彩乃が
「ただいま！」って
元気に帰ってきて、
いろんな話をしてくれることが
一番のお薬です。

竹内 一美（母）

お父さんはよく
「楽しんだもの勝ちだよ。」
と、言ってくれるよね。
そのおかげで
きんちようが抜けて、
自信をもつことができるよ。
だから、奏佑は
お父さんの力になれるように
これからもがんばるよ。

重田 奏佑（小6 金沢市）

奏佑はどんなことでも
一生懸命だから、
いつも楽しそうでいて
キラキラ輝いている。
どんなときも真剣だから、
人の心を打つんだ。
お父さんとお母さんは幸せです。
そんな奏佑の成長を
毎日見ることができるのだから。

重田 良嗣（父）

「素直にね。」と何度
言っても、
なかなか意地っばりの
あまのじゃくが直りません。
あらかの「あ」は
あまのじゃくの「あ」と
言っているけど、本当は
あいしてるの「あ」だよ。
一緒にいる時間が増えると
似てくるのかな。

柳瀬 麻友子（母）

「素直にね。」と何度も
言われているけど
なかなか素直になれない。
つい調子に乗って
意地をはってしまふ。
はずかしくて、
本当の気持ちを言うのが苦手だ。
だから今も手紙を読んで
温かい気持ちになったのは
ないしょ。

柳瀬 新太（小6 金沢市）

朝、鏡の前に立つ私と並んで
「お母さんと変わらんく
なってきた！」

と大きな声で嬉しそうに
背比べしてきたね。

そりゃそうか、もう12歳。

少しずつ大人になってきた

紗希を見てとても愛おしく感じる
毎日です。

私とお母さんと鏡の前で
一緒に並ぶと

「大きくなったねえ」

とお母さんがよく言うよね。

これから大きくなって、

もっとお手伝いもして

お母さんのこと助けるね。

そうしたらお母さんみたいな
立派な大人になれるかなあ。

長 裕加子（母）

長 紗希（小6 津幡町）

何度も手紙で

自分の心を打ち明けていたよね。

でも、まだまだ

知ってほしいことがある。

それをいうときは、

今度は手紙じゃなくて、

直接話そ。そのときは、

何もいわないで

聞いてくれますか？

じゃあその時はよろしくね。

優梨ちゃんが思ったこと、

感じたことを伝えたい時、

しっかりと聞くんね。

もしパパが聞けていない時は

「ちゃんと私の話を

聞いて！」

って注意してください。

優梨ちゃんの気持ちや考えを

大切にしたいと

思っているから。

川原 優梨（小6 内灘町）

川原 正好（父）

「野球やめたい。」

と言ったあなた。

辛い事から逃げるのも

立ち向かうのも

決めるのは晴一郎だよ、

と伝えた数日後、

「野球頑張る。」

と言ってくれて涙がでました。

どんな選択をしても、

母はいつまでも応援しているよ。

天田 理恵（母）

野球で怒られたり、

ヒジのけがもしてしまったりして、

あの時は野球が

怖かったんだ。

今も上手じゃないし

毎回怒られるけど、

大切な仲間と

野球ができることを

楽しもう、と思えるようになったよ。

いつも応援ありがとう。

天田 晴一郎（小6 かほく市）

自分の目標に向かって、

やったことのないことに

挑戦するって、ワクワクするけど、

勝手に涙が出てくるほど

こわいと思うなんて

知らなかったよ。

これからもがんばって

挑戦していくから、

涙が出たら抱きしめてね。

川下 葵子（小6 かほく市）

甘えん坊の末っ子が、

全力で頑張っている姿を

頼もしく思っていたけど、

涙が出るほど怖いと思うことが

あったなんて知らなかったよ。

いつでもギューって

抱きしめるから、

思いっきり

挑戦しておいでー!!

川下 和佳子（母）

「応援しとるからね」と

二人から言われた。

大事な試合だった。

両親が応援しているのが

よく分かった。

母のひとときわ目立つ声が聞こえ、

父の温かく

そしてきびしい視線があつて

それがうれしかった。

試合がとても楽しかった。

竹田 龍ノ介(小6 かほく市)

ママとパパは、

いつでも龍の全力応援団。

龍がマウンドに立つ度に

心臓ドキドキ。

でも、大丈夫。

龍が人一倍努力していることも

知ってるよ。

頑張った分が

自分の自信につながる。

目指せ日本一!! 楽しもうね。

竹田 愛子(母)

お母さん、

いつもバレエの送りむかえを

ありがとう。

つかれてねてしまう事も

多いけど、と中うつすら目を

開けると、いつも楽しそうに

運転しているよね。

話したい事も沢山あるのに、

それでまた安心して

ねむってしまうよ。

岡部 紗来(小6 志賀町)

車の中は、唯一さが

ゆつくりできる時間だから、

眠っていいんだよ。

気持ちよさそうに

眠る姿を見ると、

それだけでお母さんは

元気になれるから。

でも、おしゃべりしたい時は、

いつだって

ウエルカムです!!

岡部 雅子(母)

パパが居なくなつて
もう三ヶ月経ったんだね。
パパにも中学校の制服姿、
見てもらいたかった。
パパに、陸上の大会、
見に来てもらいたかった。
色々な事に挑戦して、
パパに喜んでもらえるよう、
これからもガンバリます。

川上 華奈(中1 加賀市)

パパも華奈の成長していく姿を
見守り生きたかったと思います。
パパの優しい瞳は
いつだって可愛くて仕方ない
華奈を見ているから。
華奈が笑顔でいられる様に
母は傍に居るから安心して。
きっとパパも一緒に
居てくれる。

川上 智弥(母)

最近、
お母さんと私の意見が合わず、
少しけんかになるね。
悪いとは思っているけど
行動することができません。
だから、これからは
おたがいに意見をいい合い、
もつとおたがいの事を
知っていこうね。

杉江 優来(中1 小松市)

優来と意見が合わず
言い合ってしまうことがあるけど、
ちゃんと自分の思いを言って
話し合える親子だと
思っているよ。
これからもいろんな話そうね。
お母さんは優来が大好き。
けんかしても何しても
ずっと大好き。

杉江 美喜(母)

最近、反こう期？で
ムシしたり、口を開いても
生意気な言葉を

言ったりしているけど、
本当は悲しくなったり、

「ありがとう」

と言いたくなったりするんだよ。

「ごめんなさい」

とは口に出せないけど

心の中では思っているからね。

武部 涼（中1 金沢市）

涼が生まれてから今まで、
お母さんは何度心の中で
「ごめん」

と唱えたことでしょう。

言い過ぎたとき、傷つけたとき、
つい当たってしまったとき…

お母さんも素直に

「ごめん」

を言えない。

親子って本当に似ているね。

武部 真紀（母）

「おなかに赤ちゃんがいます。」

エコー写真を見せながら

そう言われた時

とってもうれしかったよ。

ママのおなかがだんだん

大きくなっていくのを

見てわくわくしてる。

今から大変だと思うけど

いつでも助けるからね。

林 こはる（中1 津幡町）

あの時、どんな反応をされるか

ドキドキしてたけど、

喜んでくれて

とても嬉しかったよ。

大きなお腹を

ニコニコ触ってくれる事も嬉しい。

もうすぐ赤ちゃんに会えるね。

こはるの事、頼もしく感じとるよ。

ありがとう。

林 紗也子（母）

お母さんの人生の中で、
一番熱い一年になりました。
何度も一緒に流した悔し涙。
でも、そのおかげで
自ら考え、
踏ん張り強くなりましたね。
最後に流した嬉し涙は
一生忘れません。
青春をありがとう。

結花もね、十三年間の中で
一番思い出に残る
一年になったよ。
ソフトテニスを通して、
これまで流した涙は必ず、
強くなることに繋がると思う。
これから壁におつかつても
一緒に乗り越えていこうね。
青春はこれからだ。

桶作 光(母)

桶作 結花(中1 かほく市)

じいちゃんへ
はたけごと
畑仕事や将棋、お疲れ様！
いつもじいちゃんに
反抗してごめんね。
学校や買い物に行くときは
「パチン！」と音が鳴るまで、
タッチする日常は元気がでて
一日がんばれそうな
気持ちになるよ！

あいかへ
一日の始まりの朝
孫と手のひらを合わせ
「パチン」としっかりした
音を聞き出発する。
これが、
なんとも言えない
良い気持ちです。
がんばれよ。

東 あいか(中1 かほく市)

東 健次(祖父)

「最後の一個

食べていいよ。」って

おかしとかを食べる時、

言ってくれるよね。

ほんとう

本当に嬉しいんだよ。

ありがとう。ときどきは

ママも最後の一個食べてね。

あと、料理も

もつと一緒に作ろうね。

ママのしたいことも教えてね。

出村 梨心(中1 穴水町)

ママも昔は、

「最後の一個を

食べて良いよ。」って

言われる側だったよ。

いらないのかな？って

思っていたけど、

りが生まれてから、

いらないんじゃないかと、

あげたいという

気持ちなんだと知ったんだよ。

出村 絵梨(母)

「行ってきます。」

私は今日も笑顔で手を振る。

「いつてらっしゃい。」

お母さんも笑って

手を振り返す。

お母さんの見送る手は、

私の背中をやさしく

押してくれる。

ほっとして、元気が出てくるよ。

松岡 侑希(中2 金沢市)

いつだったかな。

朝、行きたくないと泣く侑希を

無理矢理連れていった日。

お母さんは侑希の気持ちに

寄り添えなかったのに、

侑希は自分の力で

いろんな不安を克服したね。

「行つてらっしゃい。

さすが我が娘。」

松岡 歩(母)

いつもじいちゃんの昔の話を聞かせてもらって楽しんでます。じいちゃんと

ドライブへ行くときも、色々な景色が見れて、それを絵に描くと、

すごいねっていつてくれて

私はもっと

絵をかきたくなります。

ありがとうございます。

山本 羽咲(中2 内灘町)

小学三年生で、大病を患い、自由のきかない身を支えながら、努力している孫、

変わるものならと

毎日思っている。

今、中学二年生になった。

今日も横に並び、

背をくらべて

大きな声で笑う。

嬉しい、本当に嬉しい。

高田 弘雄(祖父)

「ねえ、ちょっと見て。」

そう言って、推しが映った

スマホを見せてくれる

お母さんが好き。

テレビの前で推しを見て

さわぐ時間が好き。

「一番の推しは真琴やよ。」って

笑う、その顔が大好き。

今年も一緒にライブ行こうね。

篠田 真琴(中2 志賀町)

スマホを見て

一緒に楽しんでくれる真琴が好き。

今まで知らなかった世界を

教えてくれてありがとうございます。

楽しくしているお母さんが

好きと言ってくれるけど

母の幸せは最推しの

真琴が笑顔でいてくれる事だよ。

この先も推す！

篠田 小百合(母)

昔^{むかし}から背比^{せいひ}べしていたね。
最近^{さいきん}までは

「まだばあちゃんの方が

大きいな。」とか言^いってたのに。

もう越^こしました。そしてもう中二。

真優^{まゆ}の成人式^{せいじんしき}の着付^{きつ}けを

ばあちゃんにしてほしい。

後^{あと}七年、

元氣^{げんき}に長生^{ながい}きしてください。

だね。まゆと、
よく背伸^{せの}びして背比^{せいひ}べしていたね。

いつの間^まにか気がつくとか

あなたの方が大きくなっていた。

上^めから目線^{めせん}で ばあちゃん

縮^{ちぢ}んでいく?と、

いつも二人^{ふたり}で笑^{わら}っているね。

もう少^{すこ}し頑張^{がんば}って

そばにいるよ。

佐味^{さみ} 真優^{まゆ} (中2 中能登町)

佐味^{さみ} 美枝子^{みえこ} (祖母)

いつも私^{わたし}の背中^{せなか}を押^おしてくれて

ありがとう。

幼^{おきな}い私^{わたし}が初めて

「ピアノを習^{なら}いたい」と伝^{つた}えた時^{とき}

「いいよ」と言^いってくれた事^{こと}が

嬉^{うれ}しくて、今^{いま}も記憶^{きおく}に

残^{のこ}っています。

これからも色々^{いろいろ}な事^{こと}に

挑^{ちようせん}戦^{せん}できたらいいなと

思^{おも}っています。

「耳^{みみ}が聴^きこえないのに

音楽^{おんがく}を習^{なら}わせるなんて!」と

周り^{まわ}からは言^いわれたけれど、

音^{かん}を感じる楽^{たの}しさを

味^{あじ}わって欲^ほしかったの。

これからも例^{たと}え難^{むずか}しくても

優花^{ゆうか}が心^{こころ}から好^すきで

楽^{はろ}しく思^{おも}える方^{ほう}を

選^{えら}び取^とってね。

いつも味方^{みかた}だよ。

大住^{おおすみ} 優花^{ゆうか} (中3 中能登町)

大住^{おおすみ} 育子^{いくこ} (母)